別添－３（土工　1,000m3）

ＩＣＴ活用工事（土工 1000m3未満）計画書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| チェック欄  ※実施項目に☑ | 施工プロセスの段階 | 作業内容 | | 採用する技術番号 | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量  （選択） |  | |  | １．空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  ２．地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  ３．TS等光波方式を用いた起工測量  ４．TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  ５．ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  ６．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ７．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ８．その他の３次元計測技術を用いた起工測量  〔８．を選択した場合の技術名称： 〕 |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  | | | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成であり、ＩＣＴ建設機械にのみ用いる３次元設計データは含まない。 |
| □ | ③ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 掘削工 |  | １）３次元ＭＧ建設機械  ※ＭＧ：「マシンガイダンス」の略称  ※採用する機種及び活用作業工種・施工範囲（別途平面図等による）については、受注後の協議により決定する。  ※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかで、ＩＣＴ建設機械を活用すれば良い。 |
| □ | 盛土工 |  |
| □ | 路体盛土工 |  |
| □ | 路床盛土工 |  |
| □ | 法面整形工 |  |
| □ | ④３次元出来形管理等の施工管理 | □ | 出来形 |  | １．モバイル端末を用いた出来形管理  ２．空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理（経費補正適用）  ３．地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理（経費補正適用）  ４．TS等光波方式を用いた出来形管理  ５．TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  ６．ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理  ７．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理（経費補正適用） ８．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理（経費補正適用） ９．施工履歴データを用いた出来形管理（河床掘削）  １０．施工履歴データを用いた出来形管理（地盤改良工）  １１．施工履歴データを用いた出来形管理（土工）  １２．地上写真測量を用いた出来形管理  １３．その他の３次元計測技術を用いた出来形管理（経費補正適用）  〔１３．を選択した場合の技術名称： 〕  ※別紙ー２４ＩＣＴ活用工事（河床等掘削）積算要領より、「音響測深機器を用いた出来形管理」については経費補正適用であるため、上記１１に記載すること。 |
| □ | ⑤３次元データの納品 |  | | |  |

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については、「ＩＣＴ活用工事（土工1000m3未満）試行要領」及び特記仕様書によるものとする。□

注２）採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。

（「採用する技術番号」欄の記載例 ： 「１」，「１，３」）

注３）①、④において、「その他の・・・」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注４）一部活用の場合は、下表にあるタイプを採用すること。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセス区分 | ＩＣＴ  全活用 | ＩＣＴ一部活用 | ＩＣＴ一部活用 |
| タイプ③ | タイプ⑤ |
| １）従来手法（選択） | － | － | － |
| ２）３次元設計データ作成（必須） | 〇 | 〇 | 〇 |
| ３）ＩＣＴ建設機械による施工 | 〇 | 〇 | － |
| ４）３次元出来形管理等の施工管理 | 〇 | － | 〇 |
| ５）３次元データの納品（必須） | 〇 | 〇 | 〇 |